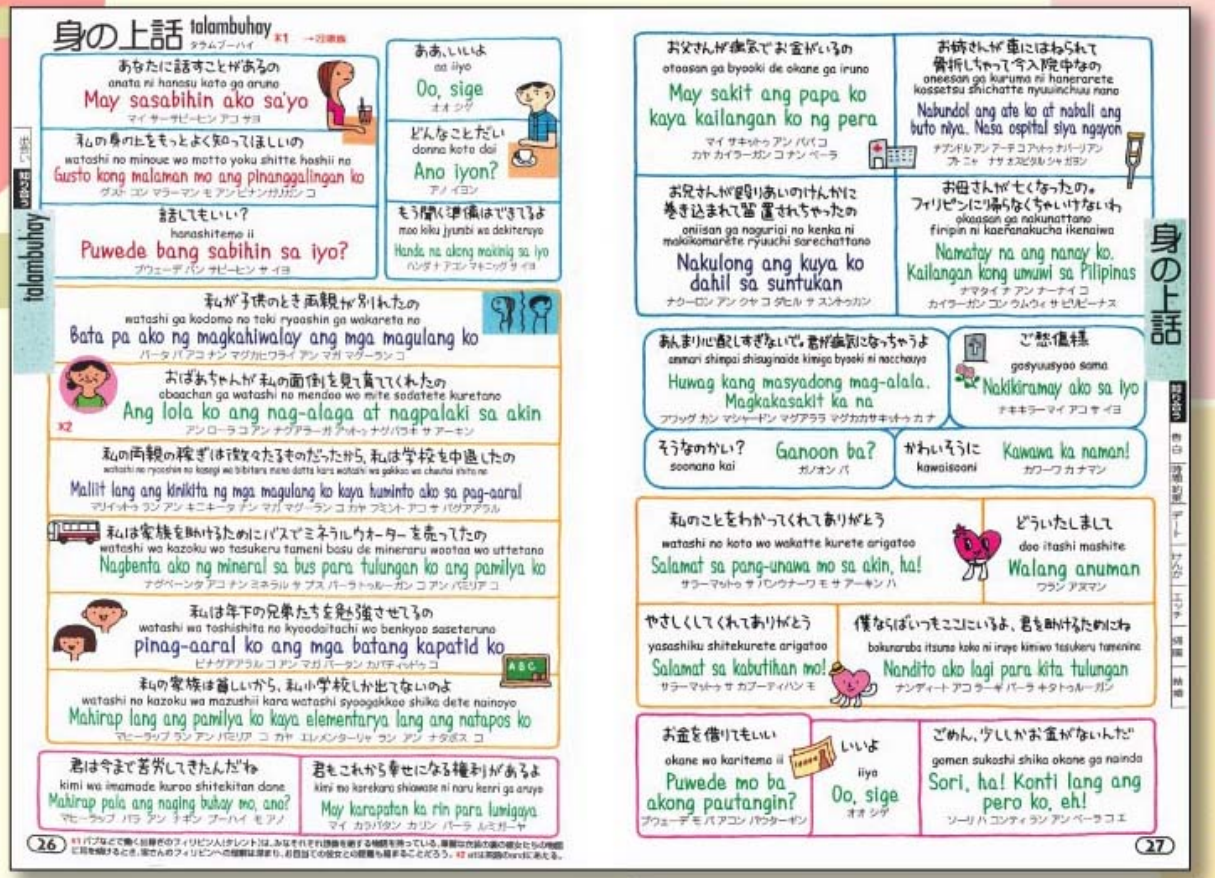
ラヴラヴ フィリピン語 講座

講師：白野慎也

Lesson .10 身の上話

talambuhay タラムブーハイ



＊『恋する指さし会話帳③フィリピン語編』大好評発売中！

本講座のテキスト『恋する指さし会話帳③フィリピン語編』の購入はアドマーズの通販が便利です。
ご自分の学習用のほか、フィリピン好きのお友達やフィリピン人の恋人へのプレゼント、フィリピン人タレントの日本語研修教材としてもお役立て下さい。購入のお申し込みは下記のアドマーズ通販をご利用ください。本書のほかフィリピン語学習に役立つ商品をいろいろ取り揃えています。
有限会社 アドマーズ　Tel：03－5285－0070
e-mail：tgs@admars.co.jp
http://www.admars.co.jp/tgs/（フィリピン語学習に役立つ情報やオリジナル商品をいろいろ取り揃えています）

＊絶賛発売中！『ラヴラヴフィリピン語会話　ショートフレーズ集Vol.1　出会い編』、『ラヴラヴフィリピン語会話　ショートフレーズ集Vol.2　ただいま恋愛進行中編』
日本人の男性とフィリピン人女性の出逢いから恋愛、結婚までの会話テキストとCDがセットになった恋愛会話学習セット『ラヴラヴフィリピン語会話』の姉妹編、ショートフレーズ集の第1巻、第2巻が大好評発売中です。内容は、本レッスンでもご紹介している『恋する指さし会話帳③フィリピン語編』のCD版です。内容はさらに豊かで、また一段とわかりやすくなっています。CDを聞き流しながら、甘い愛の語らいの言葉が身につけられる、実用型教材です。詳しくは下記のホームページでご覧下さい。第1巻発売当初、予想をはるかに上回るご注文を頂き、あっという間の完売・在庫切れで、皆様にご迷惑をかけたことをお詫びかたし上げます。
本シリーズは一般書店では購入できません。ご購入はアドマーズの通販をご利用ください。
有限会社 アドマーズ　Tel：03－5285－0070
e-mail：tgs@admars.co.jp
http://www.admars.co.jp/tgs/（フィリピン語学習に役立つ情報やオリジナル商品をいろいろ取り揃えています）

＊ フィリピン語プライベートレッスンが全国どこからでも～インターネット・レッスン無料体験実施中！
本書『恋する指さし会話帳③フィリピン語編』や『旅の指さし会話帳～フィリピン編』の著者としておなじみの白野慎也が、読者のみなさまにマンツーマンでフィリピン語をご指導します。インターネットレッスンなら全国どこからでも受講可能です。フィリピン語を勉強したいがどうやって始めたらよいかわからない方、始めたものの すぐ挫折してしまった方、フィリピン人の彼女とのコミュニケーションで苦労している方、将来フィリピンに永住するための言葉の準備もしておきたい方、ビジネスでフィリピン語が必要な方、マンツーマンで密度の高いレッスンが全国どこでも受けられます。しかも現在インターネット・レッスンは無料体験できます。お気軽に下記のアドレスまでメールをお寄せ下さい。（tgs@admars.co.jp）

[レッスン1：レベルが違う彼女たちの身の上話]

海外に出稼ぎに来ているフィリピーナの多くは、経済的に貧しい家庭の中で生まれ育っています。小さな家の中で多くの家族が暮らすフィリピン人の生活は『身の上話』の種にはこと欠かないようです。「お父さんがお姉さんをレイプしようとし、止めに入った母親を刃物で刺し殺した」、「ヤシの木に逆さづりで縛り付けられ、スポンのベルトで力いっぱい鞭打たれた」など耳を覆いたくなる話も多く、彼女たち一人一人にわれわれ日本人の想像力をはるかに超えた物語があることにビックリするかもしれません。では、よりよい生活のためにお金を稼ぎに海を渡った彼女たちの物語に耳を傾けてみることにしましょう。

[レッスン2：身の上話のパターン]

身の上話のパターンには、どんなものがあるのでしょうか？　私とまわりの友人、生徒さんなどの経験談によると大体以下のようなものが多いようです。

①両親の離婚に関するもの、そのごたごたに関すること
②貧しい家庭で育った自分の生い立ち、その中での自分の苦労話
③自分の家族に関する話
④自分や家族の最近の事件・出来事
⑤自分の過去の男性関係やその結末・現在まで続く問題
⑥頑張って働いた後の成功話

①については、離婚の原因はほとんど父親側に理由があるようです。浮気、度重なる妻への暴力、仕事もなくブラブラしている。そして挙句の果てに家族を捨て(時に妻の方から捨てられて)、母子による新生活が始まるというわけです。暮らしの糧を得るために母のみならず、幼い子供たちも新聞売りや花売り、雑貨店の手伝いなどをして働き手として勉強も犠牲にしてみんなで助け合います。

②について。どんな家に住んで、何を食べ、いかに惨めな思いを耐え忍んで生きてきたかは皆さんの興味と同情を引くことでしょう。特に親戚の家に居候していた場合など、おじさんやおばさんなどから受けた肉体的虐待などの話しには耳を覆いたくなるかもしれません。

③について。兄弟の多いフィリピンの家庭では、兄弟の中に問題児がいることが多いのです。どの程度の『問題児』なのかが問題なのですが、そこにまたドラマがあります。

④について。何かと事故が多いフィリピンでは人の命が簡単に失われてしまうことが多いのです。こんなことがありました。かなりのプレーガールだったフィリピーナが、自分がふった男の恨みを買い、怒り狂ったその男は殺し屋3人組を彼女の家に送り込み、殺し屋3人組は、車に乗ったまま家に向かって自動小銃を乱射し、彼女の子供のお守りをしていた義理のお姉さんが流れ弾に当たって亡くなったのでした。亡くなった義理のお姉さんは素朴な田舎の『いい人』でした。問題のある兄弟がいるといろいろな場面でとばっちりを食うもので、それは時に命にかかわるものなのだと実感しました。

⑤について。人に歴史あり、紆余曲折にとんだちょっとハチャメチャな話しを聞けることでしょう。

⑥については日本で働いたお金で立派な家を建てたとか、自分の店を持つことができたといった話で日本人のわれわれから見ればほんとにささやかな成功かも知れませんが、彼女たちの夢はそれだけシンプルなものであるとも言えるでしょう。

[レッスン3：相づち上手であること、そして共感]

彼女たちは、なぜ身の上話をするのでしょうか？　ひとつ明確なのは、あなたにある程度心を許し、あなたの共感を求めているからです。（場合によっては同情を引いてお金を引き出そうとしているかもしれませんが）ですから彼女たちの話をより一層引き出すには聴き上手になること、相づち上手になることが肝心です。前課のレッスンとダブりますが、日本人の方でそこそこフィリピン語が出来る方でも、意外と上手にあいづちを打てる方は多くないように見受けます。「Oo」と「Hindi」だけではさすがにコマ不足です。「そうなのかい？」「ああ、そうなんだよ：Oo, ganon na nga(オオ　ガノン　ナ　ガ)」「本当?:Talaga? : タラガ」「そんなことってありえるの？：Posible ba iyan?(ポシブレ　バ　イヤン)」「それは深刻な問題だね」、「気持ちはわかるよ」「君の言うとおりだよ：Tama ka diyan(ターマ　カ　ジャン)」などのあいづち・合いの手のフレーズをどんどん使って会話にメリハリと勢いを与えてほしいと思います。愛する彼女の身の上話を聴いているなら、テキスト中でも紹介した「君はこれから幸せになる権利があるよ」「僕ならばいつもここにいるよ、君を助けるためにね」などもさりげなく言えるように練習しておきたいところです。では、今回のレッスンはここまでにします。今後も『恋する指さし会話帳』はますます恋の佳境に入っていきます。ご期待ください。

ではまた来月までさようなら。